

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18120
政策名(章)	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第1節 世界とともに生きる地域社会の実現	評価担当課	文化国際課
施策名	国際交流・国際協力の推進	課長名	江成 朱美

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

世界に開かれた地域社会づくりをめざし、3つの友好都市(中国・無錫市、カナダ・トロント市、カナダ・トレイル市)との教育・文化・スポーツ・青少年・経済など様々な分野での交流を通じ、友好都市との相互理解と国際親善を推進します。
 また、世界各都市との幅広い交流や協力を通じ、市民一人ひとりが「地球市民」としてのグローバルな視野に立って判断し、「ともに生きる社会」をめざして行動できるよう市民主体の国際化や国際理解を推進します。
 友好都市の無錫市及びトロント市とは、平成14年度までに相互訪問により延べ4,912名の市民が交流しています。近年では、永年の交流の成果により市民団体独自の交流も盛んになっています。
 また、相模原市では、国際交流基金の果実を活用した「国際化推進事業支援金制度」により、市民団体が市民を対象に行う国際交流事業や国際協力事業に対して支援をしています。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		20,194	
人件費		161	
市民一人あたりの事業費	4	31	
合計	2,436	20,355	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

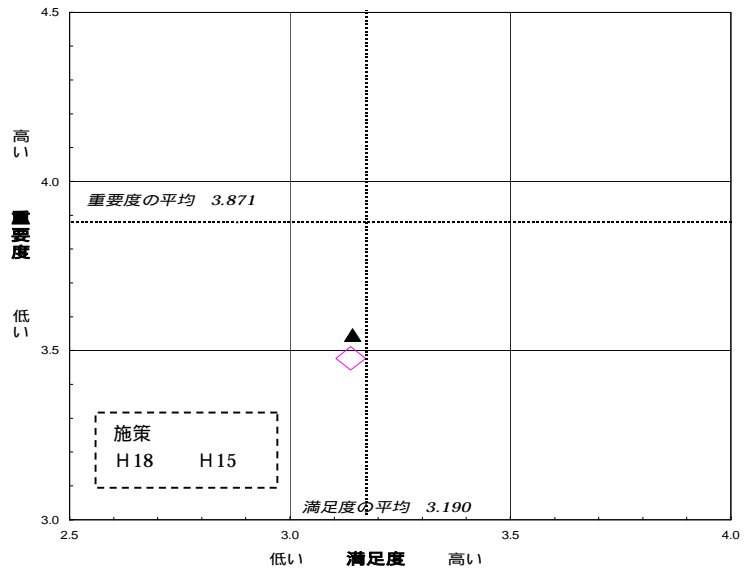
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	友好都市・中国無錫市との交流率(%)	交流者数 / 過去最大交流者数(記念事業実施年度を除く) × 100(%)	235人 (100%)	H16
指標2	友好都市・カナダトロント市との交流率(%)	交流者数 / 過去最大交流者数(記念事業実施年度を除く) × 100(%)	110人 (100%)	H14
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	235 / 310	19	250人	21	280人 (120%)	年間の相互交流者数の増加。基準値の120%
達成率	131.9 %					
指標2	110 / 76	19	120人	21	130人 (120%)	年間の相互交流者数の増加。基準値の120%。
達成率	69.1 %					
指標3						
達成率	#DIV/0! %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.138で51施策の中で31番目。
 重要度は3.477で47番目である。
 改善要望度は - 0.2416で44番目である。
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は60歳代以上で高く、30、40歳代で低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、40歳代で前回調査より大幅に下がっている。
 重要度の順位では、前回調査と大きな差はみられない。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	相互交流が活発に行われ市民間における相互理解も図られており、本市の国際化に大きく貢献している。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 ② 1	市民間における友好都市交流については、原則自己負担であるため、市の経費負担は原則なし。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	友好都市を訪問した市民からは、有意義な訪問であったとの報告を受けている。よって市民ニーズに則した事業であるといえる。	
合計		7	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	市民が主体となった交流を一層促進するため、市民間における交流事業の継続性、新たな分野における交流を図るなど促進策の検討が必要である。
解決策	的確に把握した友好都市の情報を広報に掲載したり、ホームページを修正することにより市民に対しすみやかに提供する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

市民ニーズを的確に把握・分析し、効率的・効果的な事業を行う必要がある。	2次評価 B
-------------------------------------	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
国際交流事業	文化国際課	1	0.02	2,436	1	0.02	161	20,194	20,355
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		0.02	2,436	/	0.02	161	20,194	20,355
	合計		0.02	2,436	/	0.02	161	20,194	20,355

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		0.00	0		0.00	0	0	0